

二年	国語	Gアップシート	話聞5
----	----	---------	-----

組	番・氏名
---	------

## ★パネルディスカッションで地域の活性化策を探ろう

問一 次の文章はパネルディスカッションについて説明した文章です。空らんにはまる言葉を、後の語群から選びなさい。

【相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話している】

あるテーマについて、異なった意見を持つ討論者(①)が、聴衆(②)の前で意見を述べ、(①)同士で話し合った後、(②)も話し合いに加わる話し合い形式。異なる意見を出し合うことで、(③)や(④)を見つけ出すことが目的である。

司会者	フロア	立場の違い	書記	パネリスト	相違点	生徒	先生
見通し	興味						

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

◇学級で『地域の活性化のためにできること』というテーマでパネルディスカッションを行うことになり、森野さんのグループは『地元の食材を生かしたB級グルメの開発』という意見を考えました。

問二 意見の根拠として、B級グルメのイベントが全国にどのくらいあるのかのデータを探したいと考えました。どんな方法を使って情報を探せば最も効率的でしょうか。ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア テレビ      イ インターネット      ウ 図鑑      エ インタビュー

【様々な情報手段を活用して討論の材料を集める】



◇調べたことを整理して、意見を文章化することにしました。次の表は提案の材料を整理したものです。

【テーマ】 地元の食材を生かしたB級グルメの開発		①	②
観光客を呼ぶことができる	地域の産業を発展させられる	イベントに参加すれば地域をPRできるから	地域食材を活用することができるから

問三 表の空らん①②にはそれぞれどんな言葉が入るでしょうか。それぞれア～エから選びなさい。

【材料をもとにして自分の意見を明確にする】

- ア 根拠    イ 事実    ウ 意見    エ メリット

①	
②	

◇グループで次のように発表の原稿を作りました。

『地域の活性化のためにできること』として、僕たちは『地元の食材を生かしたB級グルメの開発』を提案します。この提案のよいところは二つあります。

一つは、話題を生かして観光客を呼べるということです。今、B級グルメがテレビやイベントなどいろいろなところで注目されています。僕たちの調査によると、日本中で一年に行われているB級グルメのイベントは五十以上にのぼるそうです。そういったイベントに参加できれば僕たちの町をPRするいい機会になります。実際に○○県の○○町は、B級グルメを使った町のPRによって、観光客が以前の五倍以上になったそうです。

もう一つは地元の食材の魅力を再発見できるといことです。僕たちの地域には恵まれた自然を生かした新鮮な食材がたくさんあります。これを活用することで、地域の産業の発展にもつながると思います。

以上の二つの理由から、『地元の食材を生かしたB級グルメの開発』を提案します。



問四 森野さんのグループは、他のグループからの質問・反論を予想し、そのことをふまえて意見を文章化しました。このとき予想した質問・反論をア～エから一つ選びなさい。

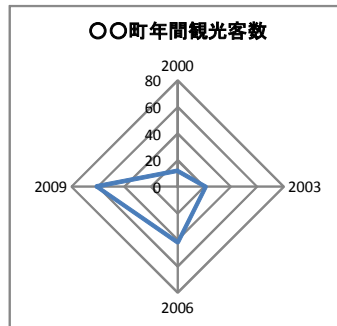
【予想した相手の反論や意見をふまえて話を構成する】

- ア 実際に観光客を増やした地域の例はあるのですか。  
 イ イベントに参加すると、どんないいことがあるのですか。  
 ウ B級グルメのイベントの司会は誰がするのですか。  
 エ この提案によいところは二つしかないのですか。

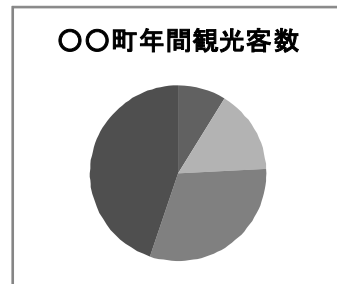
--

問五 この提案に説得力を持たせるために、『〇〇町の観光客の人数の推移』をグラフで提示することになりました。次のア〜ウのどの種類のグラフを用いるのが最も効果的でしょうか。一つ選びなさい。

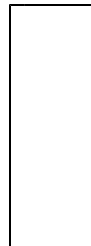
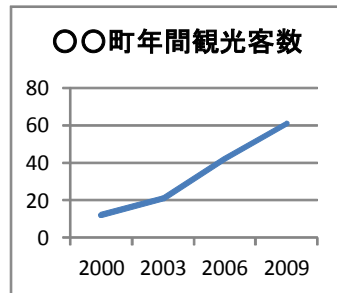
ア



イ



ウ



【説得力を高めるために、グラフや表などの資料を示す】

◇パネルディスカッションが行われました。その中で和田さんのグループからは『地域を盛り上げる春祭りの企画』という提案でA、高木さんのグループからは『特産品をPRするゆるキャラの制作』としてBのような発表がありました。

A (和田さんのグループ)

私たちのグループでは『地域を盛り上げる春祭りの企画』を提案します。私たちの地域には秋祭りがありますが、春祭りはありません。そこで、春祭りを企画してみんなで盛り上げれば、他の地域から人が来て、地域も活性化していくと思います。このことから『地域を盛り上げる春祭りの企画』を提案します。

B (高木さんのグループ)

私たちのグループの提案は『特産品をPRするゆるキャラの制作』です。この町はマツタケ、リンゴなど魅力的な特産品がいろいろあります。それをイメージしたゆるキャラを作り、町の人通りの多いところで活動してはどうでしょうか。それを見ることを目的に他の町から多くの人達が来てくれることが期待できますし、特産品を知らなかった人にはそのゆるキャラで知ってもらう事ができます。以上のことから『特産品をPRするゆるキャラの制作』を提案します。

問六 和田さんのグループでは、この発表の前にグループ内で、内容に不足な部分があるので追加した方がいいという意見が出ていました。どんな内容をどんな目的で追加すればよかったか、最も適切なものをア～エの中から一つ選びなさい。

【理由や趣旨を明確にして提案する】

- ア 春祭りの内容が具体的にでないので、どんなことを行うのかを述べて、地域に対するこの企画のメリットをイメージしやすくすればよかった。
- イ 春祭りの時期がはつきりしないので、いつ行うのかを述べて、祭りと天候とのかね合いについてイメージしやすくすればよかった。
- ウ 春祭りの楽しさがよく見えないので、みんなが楽しめる出し物の例をいくつかあげて、春祭りの楽しさをイメージしやすくすればよかった。
- エ 春祭りの費用がわからないので、どのくらいのお金がかかりそうなのかを述べて、予算についてイメージしやすくすればよかった。

問七 討論の時間に、和田さんのグループの発表にいくつか質問がありました。その中に、コーディネーター（進行役）からこの提案に対する質問として適切でない判断されたものがありました。それをア～エから一つ選びなさい。

【目的に沿って提案や発言の内容を整理して話し合いを進行する】

- ア 春祭りといっても、どんなことをするのですか。
- イ 春祭りを地域の活性化にどうつなげるのですか。
- ウ 春祭りだけで夏祭りと冬祭りはしないのですか。
- エ 春祭りといっても誰が主体となって行うのですか。

問八 パネルディスカッションの終わりに、コーディネーターが次のようにまとめを行いました。今回のまとめとして最も適切なものになるよう、空欄に入る言葉を後のア～エから選びなさい。

【話し合いの内容を整理する】

さまざまな提案がありました。地域を盛り上げるためには  ことが大切だということとが共通していました。このことを、今日のまとめとしたいと思います。

- ア 他の地域からたくさんの人に来てもらう
- イ 地域の人々が楽しんで積極的に取り組む
- ウ 地域の財産を十分に活用する
- エ 地域の良さをもう一度見直す

## 【話聞5 パネルディスカッションで地域の活性化策を探ろう】

問一 ①パネリスト ②フロア ③④立場の違い、相違点(順不同)

問二 イ 問三 ①エ ②ア 問四 ア 問五 ウ

問六 ア 問七 ウ 問八 ア

## 解説

問二 調べる対象がわかっている場合には、情報の検索をして調べることができる方法が有効です。また、調べる対象が最近のものなのか、昔からあるものなのかによっても方法が変わってきます。

問三 調べた材料を整理して自分の意見を考える際には、その根拠が明らかになるようにします。特に提案の意見を出すときは、その提案のメリットとその根拠を示しましょう。

問四 原稿の下書きができたなら、聞き手の気持ちになって読み直してみても、わかりにくいところや疑問に思いそうな所がないか考えましょう。わかりにくいところや疑問に思いそうなところが見つかったら、原稿にそのことについての説明を追加してもいいでしょうし、実際に質問が出たときのための答えをメモとして準備しておいてもいいでしょう。

問五 グラフには様々な種類があります。それぞれの特徴をつかみ、場合に合わせて最も効果的なグラフを用いるようにしましょう。数値の変化を表すには折れ線グラフが効果的です。

問六 何かを提案する際には、その提案のメリットと根拠を明確に示すことが大切です。原稿の構成はその根拠とメリットをどうすれば十分に理解してもらえるかを一番大切にしていきたいと思います。また、書いた原稿を読み返すときも、同様の視点で読み返しましょう。

問七 討論の司会をする際は、テーマを常に意識して行いましょう。討論の際には様々な意見や質問が出ますが、テーマから外れているものについては取り扱わないことにしてもかまいません。その際には発言者に一言注意しましょう。この場面は春祭りの提案なので、他の祭りの企画のことは話題として扱いません。

問八 パネルディスカッションは話し合いによって考えを深めるのが目的なので、結論を出さなくてもかまいません。最後のまとめとしてはそれぞれの意見の共通点、相違点を確認するといいでしょう。